



人と化学の未来をめざして  
マナック株式会社

# CSR報告書 2022

MANAC Incorporated CSR Report 2022

“生命の源”と言われる海水資源から生まれたマナックにとって、地球環境を守ることは使命のひとつです。お取引先様や地域社会の人々をはじめとするステークホルダーの皆様に信頼される企業を目指し、責任ある企業活動を行っています。

本報告書では「企業理念」、「ガバナンス」、「環境への取り組み」、「安全衛生への取り組み」、「社会との関わり」、「持続可能な社会に向けた取り組み（SDGs関連）」の6部構成で、持続可能な社会の実現に貢献するための様々な取り組みをご紹介します。

今後とも、CSR活動に取り組むとともに、皆さまとのコミュニケーションを図り、よりわかりやすい編集を目指していきます。

■ 報告対象期間  
2021年4月～2022年3月

■ 報告対象組織  
マナック株式会社を対象としています。  
なお、財務ハイライトはマナック・ケミカル・パートナーズ（MCPs）グループ連結の数値です。

■ 参考としたガイドライン  
環境省「環境報告ガイドライン」、  
GRI「サステナビリティ・リポーティング・ガイドライン」

## 目次

編集方針	1
ごあいさつ	2
企業理念	
企業理念	3
経営理念	3
企業行動憲章	3
ガバナンス	
コーポレート・ガバナンス	4
リスクマネジメント	5
コンプライアンス	5
環境への取り組み	
環境マネジメントシステム	6
マテリアルフロー	7
エネルギー使用	7
温室効果ガス排出量	8
省エネルギー	8
化学物質の管理	9
廃棄物排出量	9
安全衛生への取り組み	
安全衛生管理体制の確立	10
健康の保持増進	11
心の健康づくり	11
保安・防災	12
化学物質安全・物流安全	12
社会との関わり	
購買基本方針	13
働き方改革	13
地域活動	14
持続可能な社会に向けた取り組み	
持続可能な開発目標（SDGs）	15
新規難燃材料（難燃WPC）の開発	16
株式会社リグノマテリアとの協業活動	16
Etak®セーフティーコート®	17
会社概要	18

## お問い合わせ先

マナック株式会社  
環境品質保証室

TEL : (084) 954-3330  
FAX : (084) 953-6148  
E-mail : info@manac-inc.co.jp

高いコンプライアンスの意識をもって、  
社員と共に  
環境・社会課題の解決にチャレンジします。

代表取締役 社長執行役員

千種 琢也



このたびは第10代目の社長に選任され、責任の重さに身の引き締まる思いです。この機会をお借りして、私が考えている企業像と今後のマナックの経営方針についてご説明いたします。

成長する企業は、プロフェッショナル意識を持った各個人が、①自ら責任を持ち、②主体的に判断し、③自主的に行動する、組織化された集団であると考えています。私自身もマナックの成長をけん引する役割から、過去の経験に安住することなく、自己研鑽に努めたいと考えています。曖昧な基準は排除し、高いコンプライアンスの意識をもって行動することを社員と共に取り組んでまいります。

今年度は新たなサプライチェーンの構築に向けて行動を起こす1年になると予想しています。ロシアのウクライナ侵攻によって、世界経済が一斉にインフレーション現象を起こし、マナックも原材料、エネルギーコストの高騰により、コストアップが予想されます。

中国、台湾関係の緊張も続いており、リスク回避策の準備が必要です。5年後、10年後を見据え、マナックグループが持続的な成長を遂げられるようリーダーシップを発揮していきます。

マナックは、環境・社会に配慮した「持続可能な調達」を推進するため、2021年10月に「購買基本方針」を制定し、方針の実現に向けて取り組んでおります。この方針には、マナックがお取引先様との相互理解、信頼関係に基づき、サプライチェーン全体でCSR調達活動に取り組む姿勢を取りまとめております。

成長のための重点施策として、「ICT/IoT化の加速」「人材への投資」を掲げ、働き方改革に取り組んでまいりました。大きな成果として、賃金規程の改訂、社内基幹システムの更新、在宅勤務制度の導入、研修制度の導入を実施いたしました。また、柔軟なフレックスタイム制度や時間単位の年次有給休暇制度なども取り入れております。引き続き、生産性の向上、社員の満足度向上に取り組んでまいります。

2022年4月より女性活躍推進法に基づき、「一般事業主行動計画」を策定いたしました。この行動計画では2つの目標を定めました。目標1：女性の採用割合15%以上、目標2：年次有給休暇取得率70%以上です。ライフ・ワーク・バランスを保ち、男女問わず、活躍できる企業を目指します。

最後になりましたが、新型コロナウイルス感染症については未だ予断を許さない状況ではございますが、ステークホルダーの皆様におかれましても、くれぐれもご自愛のうえ、引き続きご支援の程よろしくお願い申し上げます。

## 企業理念

『スペシャリティーケミカルをベースに社会の進化・発展に貢献する』  
～進化する技術、そして進化する人間をめざして

## 経営理念

- 1 「地球環境・人間社会に信頼と安全・安心・感動を発信する会社」をめざす
- 2 英知と勇気をもって能力を最高に発揮し、企業価値の最大化をめざす
- 3 明日の未来社会からも注目される会社をめざし、常に『革新』

## 企業行動憲章

公正で透明性のある企業を目指し、「企業行動憲章」を定めています。ステークホルダーの皆様からの確固たる信頼を確保し、企業の社会的責任を果たしていきたいと考えています。  
※2021年10月に改訂いたしました。

### 企業行動憲章

私たちは、スペシャリティーケミカルをベースに社会の進化・発展に貢献するためにこの企業行動憲章を定めます。私たちは、あらゆるステークホルダーとコミュニケーションを図り、持続可能な社会の実現に向けた社会的存在価値のある製品を提供し続けたいと考えています。

#### （法令遵守）

私たちは、各国・地域の法令を遵守するとともに、高い倫理観をもってグローバルな事業活動を展開します。

#### （持続可能な経済成長と社会的課題の解決）

私たちは、持続可能な社会の実現に貢献するため、化学技術を用いたイノベーションを通じて社会に価値を提供します。

#### （公正な事業慣行）

私たちは、各国・地域の法令を遵守するとともに、公正かつ自由な競争ならびに適正な取引、責任ある調達を行います。

#### （公正な情報開示、ステークホルダーとの建設的対話）

私たちは、会社情報を適正に管理し、適時、適切に情報開示します。

また、企業をとりまく幅広いステークホルダーと建設的な対話を行うことで、企業価値の向上に努めます。

#### （人権の尊重）

私たちは、すべての人々の人権を尊重します。

#### （消費者・顧客との信頼関係）

私たちは、お客様の信頼と満足を得るために、適切な情報提供、誠実なコミュニケーションを行います。

#### （働き方改革）

私たちは、個々の能力を高め、多様性、人格、個性を尊重する働き方を実現すると共に、仕事と生活の調和の実現に努めます。

#### （職場環境の充実）

私たちは、健康と安全に十分配慮した働きやすい職場環境の構築に努めます。

#### （環境問題への取り組み）

私たちは、地球環境への影響や、その対策を考えて行動します。

#### （社会参画と発展への貢献）

私たちは、良き企業市民として、公の秩序に従い、信義誠実な行動を行うとともに積極的に社会に参画し、その発展に貢献します。

#### （危機管理の徹底）

私たちは、反社会的勢力の行動やテロ、サイバー攻撃、自然災害等に備え、組織的な危機管理を徹底します。

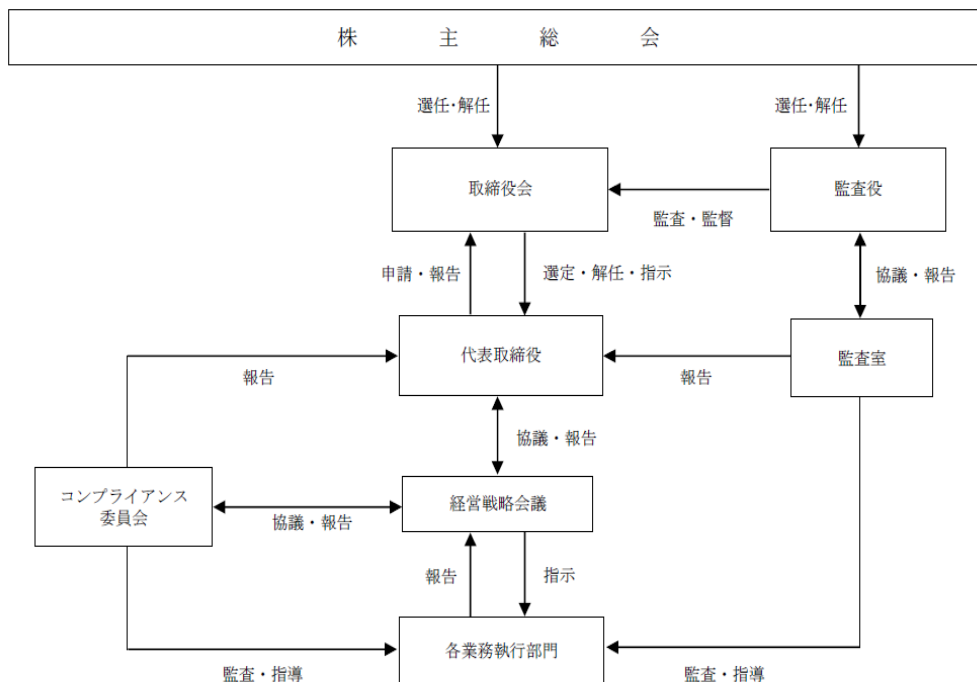
#### （経営トップの役割と本憲章の徹底）

経営トップをはじめとする役員は、本憲章の実現が自らの役割であることを認識し、率先垂範して行動するとともに、社員への周知徹底を図る。また、社内外の声を把握し、実効あるガバナンスを構築するとともに、企業倫理の徹底を図る。本憲章の精神に反し、社会からの信頼を失うような事態が発生したときには、経営トップが率先して問題解決にあたり、原因究明、再発防止に努め、その責任を果たし、信頼を回復する。

ステークホルダーの皆様に対する責任を自覚し、持続的な成長と中長期的な企業価値の創出に努めます。コンプライアンスに沿った事業活動を行い、コーポレート・ガバナンスを充実させていくことを最重要課題のひとつと位置付けています。

### 1. 機関構成・組織運営等について

組織形態：監査役設置会社



コーポレート・ガバナンス体制図

### 2. 会社の機関について

取締役会は取締役3名で構成されており、重要事項の決定及び業務執行の監督を行っています。また、取締役会に準ずる機関として経営戦略会議を設置しています。経営戦略会議は執行役員5名で構成されており、社内の重要事項についての確かつ迅速な意思決定を行い、急速に変化する経営環境に対応できる経営管理体制をとっています。

監査役は取締役会をはじめ社内の重要会議に出席し、取締役の業務執行及び企業活動の適法性、妥当性について監査しています。

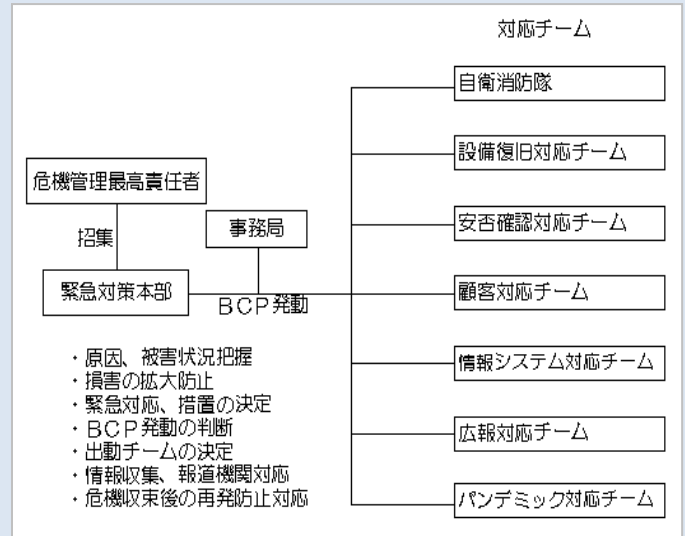
各業務執行部門が行っている事業活動については、監査室及びコンプライアンス委員会により、その適法性、妥当性を監査しています。

### 3. 現状のコーポレート・ガバナンス体制を選択している理由について

マナックの企業規模や事業内容などを総合的に勘案し、現体制がマナックにとって最も実効性のあるものと判断しています。

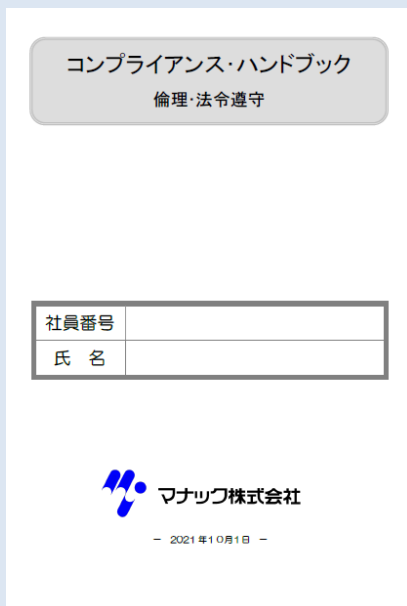
## リスクマネジメント

リスクを最小限のものにするために、各種規程を定めて必要な社内体制を確立しています。大規模地震を想定した事業継続計画（BCP）に加え、感染症などパンデミックへの対応も行っており、状況に合わせた内容の見直しをしております。



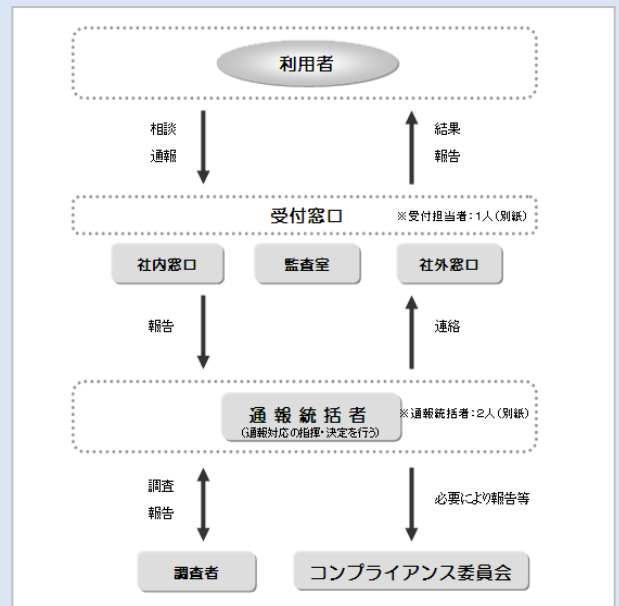
## コンプライアンス

「企業行動憲章」に基づき、高いコンプライアンス意識をもって行動いたします。マナックでは担当役員のもとコンプライアンス委員会を設置し、毎月開催しております。また、コンプライアンス違反に対して、効果的に対処するため内部通報制度を定めています。



### コンプライアンス・ハンドブック

コンプライアンス・ハンドブックを配布し、周知に努めています。また、毎月コンプライアンスに関する情報を提供しています。



### 内部通報制度

より使いやすく、信頼性もより確保される仕組みを目指して、内部通報制度を運用しています。

# 環境への取り組み

## 環境マネジメントシステム

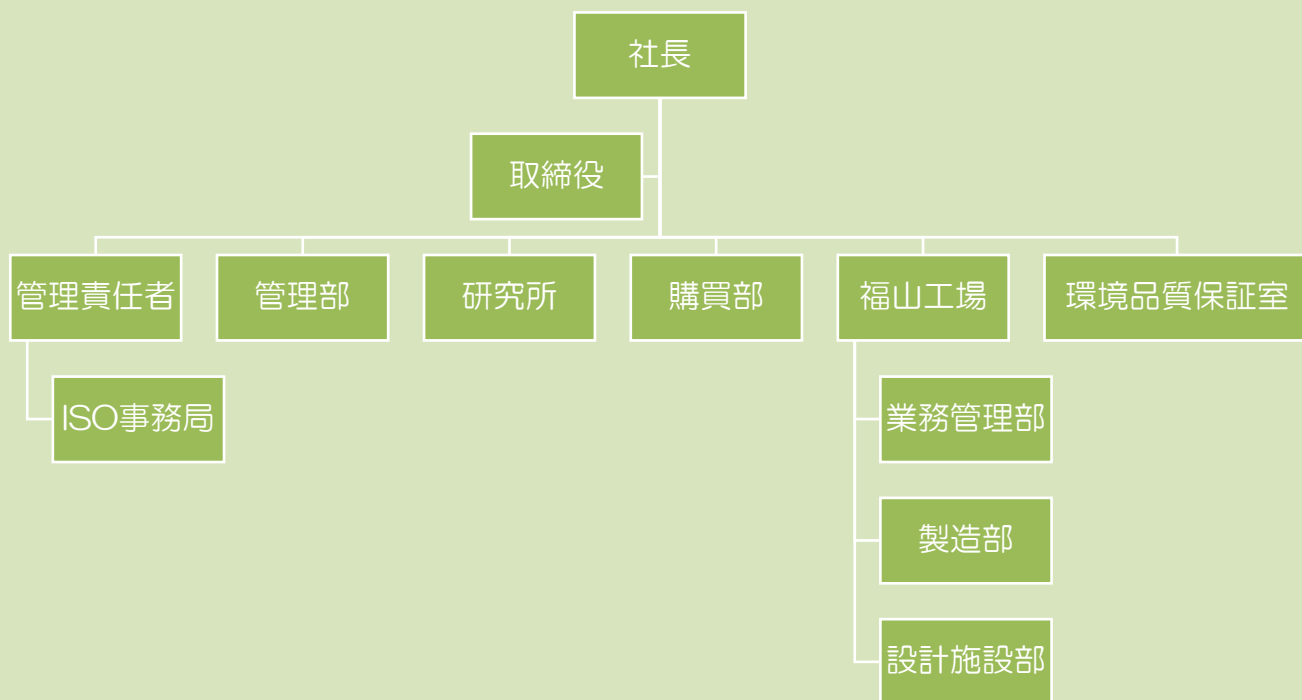
ISO14001：2015年版規格に基づいた環境マネジメントシステムを確立しています。「環境基本理念」、「環境方針」に沿った環境への取り組み計画の策定と推進を継続し、改善に努めています。

### ■環境基本理念

当社は温暖な気候に恵まれた瀬戸内の地に創業し、今日まで企業活動を展開してきました。この恵まれた環境を守ることも企業の使命の1つであると認識しています。当社の事業は、常に化学物質と向き合っています。化学物質は、その取扱いを一步誤ると、危険で有害なものであり、地球温暖化や環境汚染のもととして危惧されています。しかし適切な管理下に取り扱えばその用途は格段に広がります。当社は、化学物質の有益性を生かしうるために、様々な場面において、環境への影響や、その対策を考えて行動し、社会の進化・発展に貢献するとともに、「地球環境・人間社会に信頼と安全・安心・感動を発信する会社」を目指します。

### ■環境方針

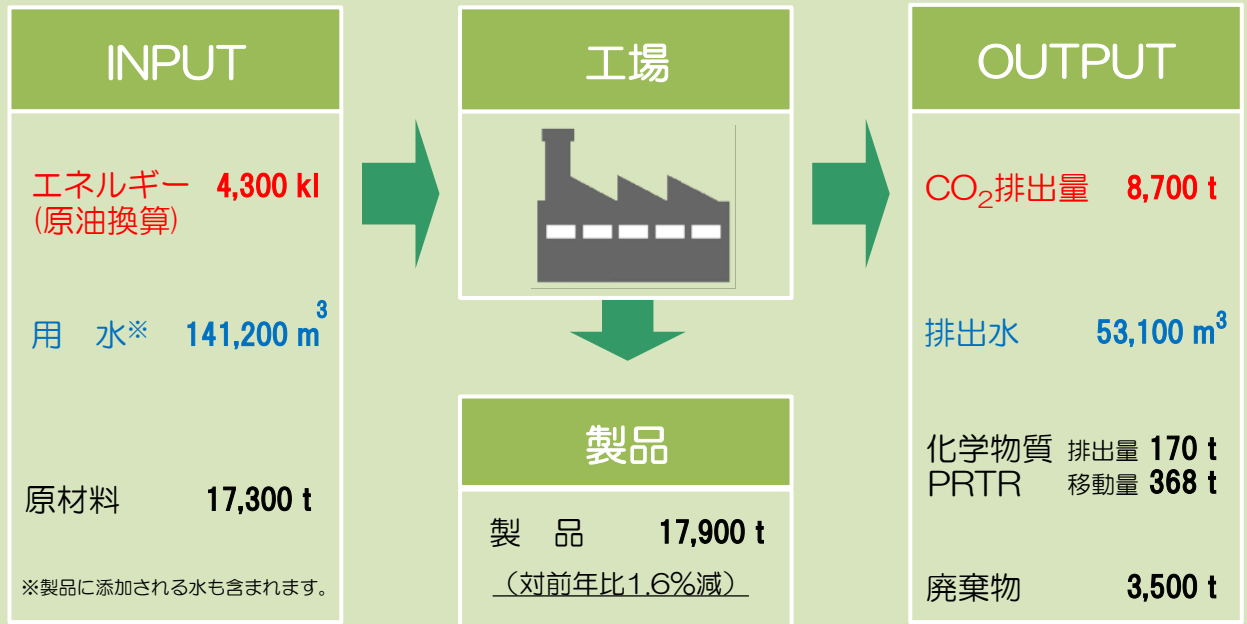
1. 地球温暖化や環境汚染の防止を念頭においた事業活動に努めます。
2. 活動の各段階において、大気への排出の抑制、廃棄物の削減、省エネルギーに取り組みます。
3. 全従業員に対して積極的な教育・訓練を実施し、環境に対する意識と知識の向上を図り、汚染の予防に努めます。
4. 環境保全に関する各種法令・協定等を理解し、順守します。
5. 環境マネジメントシステムを効果的に運用し、定期的なレビューを実施すると共に、継続的改善を図ります。



# 環境への取り組み

## マテリアルフロー

事業活動に伴い投入するエネルギーや資源、排出される物質を定量的に把握し、重要な環境課題の特定や課題解決に役立てています。今後とも環境影響の最小化を目指して推進していきます。

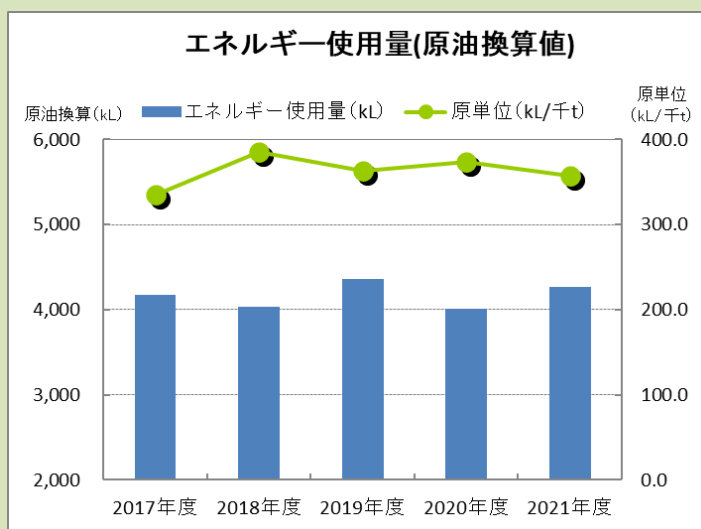


## エネルギー使用

マナックでの主なエネルギー使用は熱源、動力としての利用です。また、省エネ法における「特定事業者」であり、エネルギー管理者を選任し、使用状況の報告を毎年行っております。エネルギー使用状況のデータをもとに省エネルギー対策を推進しております。

### ■エネルギー使用量の推移

2021年度はエネルギー高消費型製品の生産数量が増加したため、エネルギー使用量は増加いたしました。しかしながら、エネルギー利用効率の向上により、単位生産量あたりの使用量（エネルギー原単位）が低減となりました。





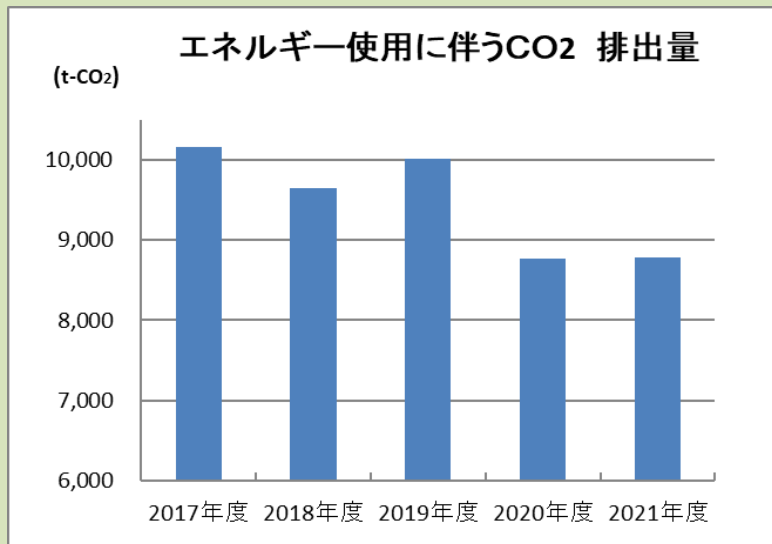
# 環境への取り組み

## 温室効果ガス排出量

当社の排出する温室効果ガスのほとんどはエネルギー起因CO<sub>2</sub>です。従って、省エネ活動がそのまま地球温暖化の防止活動となります。ボイラーの燃料転換・効率化、省エネ設備の導入、節電活動などに注力しています。

### ■CO<sub>2</sub>（二酸化炭素）排出量の推移

エネルギー使用量は増加しましたが、設備の効率化によりCO<sub>2</sub>排出量は微増にとどまりました。

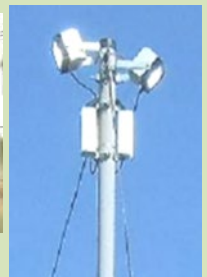


## 省エネルギー

マナックは全社において省エネルギーを推進しています。福山工場の熱源であるボイラーは、ガス専焼の小型高性能機を台数制御運転しています。一方、電力削減は工場の原動機を中心に事務/生活系の一般電力も含めた節電に継続して取り組んでいます。

### ■継続中の取り組み

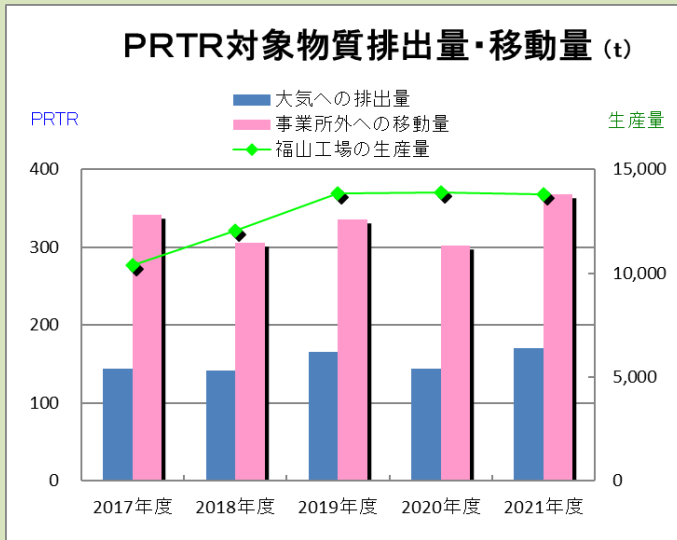
- ・省エネ設備へ更新（冷凍機、空調機）
- ・省エネ設備の導入（ヒートポンプ式温水製造機等）
- ・LED電灯の導入（生産施設を含む）
- ・屋根の遮熱、窓の遮光等による空調の負荷ピーク緩和
- ・クール・ビズ、ウォーム・ビズ、こまめな消灯などの節電活動
- ・工程の時間調整によりピーク電力をシフト
- ・設定圧力（空気圧、蒸気圧）の変更による負荷低減
- ・冷凍機系等の定期整備・更新（熱交換部、冷却塔など）
- ・配管、トラップ、保温材などの自主保全活動（洩れ、熱ロス防止）



# 環境への取り組み

## 化学物質の管理

「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」（PRTR法）に基づき、対象事業所となる福山工場においては化学物質の環境への排出量・移動量を把握しています。ISO14001システムと連動し、対象化学物質の排出抑制を環境目標活動として継続的に取り組んでいます。



### ■環境目標活動

- 設備： 密閉化の推進  
冷却能力の向上
- 工程： 作業方法の改善  
除害装置の適正使用
- 取扱者： 適切な取扱方法の教育

※PRTRとは  
「Pollutant Release and Transfer Register」

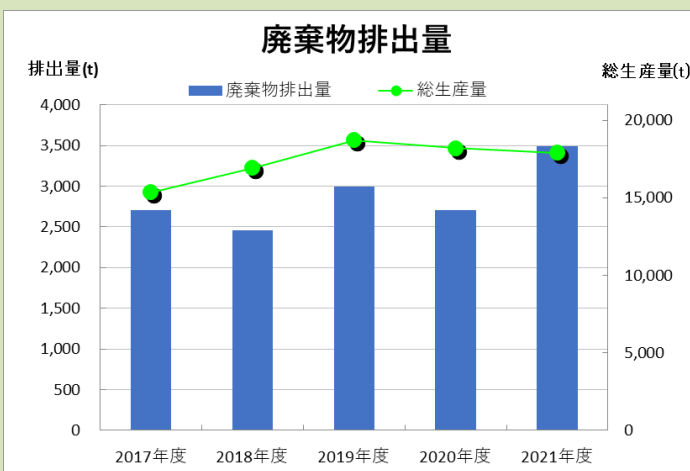
人の健康や生態系に有害なおそれのある化学物質について、事業所からの環境（大気、水、土壌）への排出量及び廃棄物に含まれての事業所外への移動量を、事業者が自ら把握し国に対して届け出るとともに、国は届出データや推計に基づき、排出量・移動量を集計し、公表する制度です。

## 廃棄物排出量

当社では、廃棄物の分別回収、溶媒のリサイクル等廃棄物の適正な処理と再資源化に努めています。また、廃棄物の処理に関しては優良認定処理業者を選択し、3Rの推進を実施して、燃料やセメント原料への転化を行い、循環型社会の構築に貢献しています。

### ■廃棄物排出量の推移

2021年度は生産品目の変動に伴い、廃棄物排出量が大幅に増加となりましたが、引き続き工程等の見直しや社内での3Rを推進し、廃棄物の発生抑制に取り組んでいきます。



3Rとは

Reduce（リデュース：発生抑制）  
Reuse（リユース：再使用）  
Recycle（リサイクル：再資源化）  
の頭文字をとったものです。

# 安全衛生への取り組み

## 安全衛生管理体制の確立

マナックの安全衛生方針は、「みんなで進める安全衛生活動を通じて、事故・災害の未然防止を図り、安全文化を構築する」を掲げて取り組んでいます。基本的なルールは守り、「なぜ」を考え行動する。先取りの安全衛生活動により、事故・災害ゼロを目指し、安全第一の文化を醸成しています。

※「考動」とは、各自がよく考え、行動に移す事を言います。

### ■安全衛生活動

労働災害ゼロ、職業性疾病ゼロ、保護具完全着用を目指し、安全衛生委員会を主体に活動を行っております。また、4つの重点施策を設定し、委員会内に設けたワーキンググループにより主体的な活動を展開しています。

### ■重点施策

1. 職場リスク低減活動
  - ・ヒヤリ・ハット、キガカリ活動
  - ・危険予知活動、指差考動
  - ・職場パトロール（定期、不定期）の実施
  - ・安全衛生職場会議（毎月1回以上）
  - ・各部署に潜在する安全衛生テーマに対する取り組み
  - ・過去の事故・トラブル対策事例の再検証
  - ・若手従業員への安全衛生教育フォロー体制の充実
2. こころとからだの健康管理
  - ・目配り、気配り、声かけの実施（朝礼、始業、終業時のミーティング等）
  - ・スマイル運動「明るい笑顔のあいさつから」を実施
  - ・定期健康診断後の積極的対応による有所見率改善の取り組み
3. 5S活動（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）の実践
  - ・原料、製品、機器、資材の適正在庫、適正保管
  - ・一仕事、一片付けの実践
  - ・週末清掃の有効利用と各部署特性に応じた5S習慣付け
4. 化学物質リスクアセスメント
  - ・危険有害性リスク低減措置へ
  - ・VOC低減対策を優先課題とし部署長主導で取り組み、成果発表

### ■その他

1. ワーキンググループによるテーマ別活動
  - ・集合教育の企画（危険物の安全な取扱い、静電気対策による防災等）
  - ・安全の日（毎月1日）の行事の推進
  - ・ヒヤリ・ハット、キガカリ活動の推進及び結果報告
  - ・化学物質リスクアセスメントの推進
2. 安全衛生パトロール（役員、産業医、安全管理者、衛生管理者）
3. 全国安全週間、全国労働衛生週間の行事企画推進
4. 外部関連団体との連携安全管理体制の確立



安全衛生パトロール

# 安全衛生への取り組み

## 健康の保持増進

当社では、従業員一人ひとりが健康に過ごせるよう、年2回の定期健康診断を行い、検診の結果、再検査が必要な場合や、所見がある場合には、産業医による個別のフォローを実施するなど、生活習慣病などの予防に努めています。その他、広島県の健康関連事業と連携し取り組んでいます。

- 産業医による健康管理、衛生の指導
- 産業医による心と身体の健康相談（毎月）
- 検診機関 保健師による日常の生活改善指導、健康への支援
- 衛生講習会「衛生管理者による衛生訓話」開催
- 季節要因による流行疾患の情報（毎月）
- 産業医職場巡視による衛生面、健康面の指導（毎月）

## 心の健康づくり

メンタルヘルス対策として、全従業員を対象とした「心の健康診断」講習会を実施し、心と身体の健康管理に取り組んでいます。

### ■心の健康づくり計画

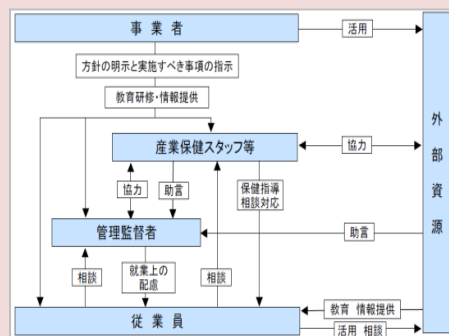
従業員とその家族の幸福な生活のために、また事業場の生産性及び活気のある職場づくりのために重要な課題であり、メンタルヘルス不調への対応だけでなく職場のコミュニケーションの活性化などを含めて広い意味での心の健康づくりを推進しています。

2015年12月の労働安全衛生法改正により、ストレスチェック制度が創設されました。

#### ※ストレスチェックの目的

- ・一次予防。（従業員のメンタルヘルス不調の未然防止）
- ・自分自身のストレスへの気づきを促す。
- ・ストレスの原因となる職場環境の改善につなげる。
- ・メンタルヘルス不調への対応し予防する。

当社では、2010年に心の健康診断の実施を開始し、2012年度から心の健康づくり計画により運用しています。



心の健康づくり体制図

### ■心と身体の健康づくり、明るい職場環境の推進

社外専門家のケアによる、家族を含めた心の健康診断相談の窓口を設置しています。

### ■メンタルヘルス講習会

(株)三十八花堂 上級睡眠健康指導士 産業カウンセラーの保田厚子様により、メンタルヘルスの講習会「なぜあの人はずっと元気なの？メンタルも睡眠も胃腸で整える」と題して行われました。

メンタルヘルス、睡眠には胃腸との関係が非常に大きいいため、腸内細菌を活発化させて胃腸の状態を良くすることが重要とのことでした。また、腸内細菌の活発化のための食事やサプリメントについて紹介いただきました。



# 安全衛生への取り組み

## 保安・防災

危険物施設や薬品保管施設などでの事故発生（火災・爆発、漏洩）を想定した対応訓練を繰り返し行い、継続的なレベルアップに努めています。また、自然災害（地震、津波）への対応として緊急用資材・備蓄品等も定期的に点検し、BCPの一環としております。

### 【近年の防災訓練実施状況（福山工場）】



年月	事故想定
2017年 6月	設備破損・薬液およびガス漏洩
11月	設備破損によるガス漏洩
2018年 3月	地震～集合～点呼～安全確認
6月	異常反応によるガス発生
11月	薬液貯槽タンクの配管破損・漏洩
2019年 3月	地震想定 机上訓練（安全確認、安否確認）
5月	設備破損・薬液およびガス漏洩
11月	高圧ガスの配管破損によるガス漏洩
2020年 3月	地震想定 机上訓練（安全確認、安否確認）
6月	基本動作、操作の確認、隊列訓練
11月	臭素漏洩・ガスの危害（拡散）防止
2021年 6月	基本動作、操作の確認、隊列訓練
11月	ドラム缶破裂火災・延焼の危害（拡散）防止
2022年 3月	地震想定 机上訓練（安全確認、安否確認）



## 化学物質安全・物流安全

便利で快適な私たちの生活は、さまざまな化学物質に支えられていますが、これらの化学物質は多くの法令などにより規制されています。改正された法令には随時対応し、安全な取扱いを心掛け、SDS、ラベル、イエローカード等により、お客様や物流関係の方にも情報を提供しています。

### ■ GHS対応

化学品の分類及び表示に関する世界調和システム（GHS）に基づいて、化学品の危険有害性を一定の基準に従って分類し、絵表示などを用いて分かりやすく表示したラベルへの対応を進めています。

### ■ SDS（安全データシート）による情報提供

化学品の安全な取り扱いを確保するために、化学品の危険有害性等に関する情報を記載した文書SDS（安全データシート）をお客様に提供するとともに、社内の担当者にも通知し、取扱い時の注意喚起を促しています。法令の改正に伴い、随時改訂を行っています。

### ■ イエローカード

万が一の輸送中の事故に備え、物流安全管理指針に沿って、運転手や消防・警察などの関係者が取るべき処置を記載した緊急連絡カード「イエローカード」を作成し、輸送中の注意喚起を促しています。



## 購買基本方針

マナックは、環境・社会に配慮した持続可能な調達を推進するため、「購買基本方針」を制定いたしました。この方針には、お取引先様との相互理解、信頼関係に基づき、サプライチェーン全体でCSR調達活動に取り組む姿勢を取りまとめております。

### 購買基本方針

当社は、企業理念「スペシャリティーケミカルをベースに社会の進化・発展に貢献する」を実現するため、すべてのお取引先様は相互理解と信頼関係に基づく良きパートナーであると考え、以下の購買方針を策定し、購買活動を行います。

1. 調達の選考基準
  - ・お取引先様の選定においては、過去の実績に拘らず、公平・公正を徹底し、グローバルに開かれた購買活動を行います。
  - ・BCP（事業継続計画）の基本方針に則り、安定調達、及び価格・品質、供給能力などの経済合理性の判断基準に基づいて決定します。
2. 法令遵守
  - ・購買活動に関わる各国の法令・規制、及び社会規範を遵守します。
  - ・企業倫理に基づき社会的良識をもって行動し、サプライチェーン全体への浸透に努めます。
3. 信頼関係の構築
  - ・相互利益の精神に基づき、お取引先様とのより良い信頼関係の構築に努め、お取引先様からのCSR調達関連の調査協力やガイドラインに賛同します。
  - ・お取引先様との取引において得た重要事項・情報については機密保持を徹底し、適切に管理します。
4. CSR活動
  - ・社会、環境、人権に配慮した責任ある調達活動を行います。
  - ・持続可能な社会の実現のために、サプライチェーン全体のCSR活動推進に取り組みます。
  - ・紛争鉱物は、原料として使用しません。

## 働き方改革

マナックは、重点施策として働き方改革に取り組んでまいりました。部門横断プロジェクトチームによる意識調査と企画提案。働きやすい環境を整備し、社員も会社も成長する企業体質を目指しています。また、業務改善としてイノベーション推進部を中心とした社内基幹システムの更新を行いました。

### ■ ライフ・ワーク・バランスの推進

	2019年度	2020年度	2021年度
年休取得率	66%	69%	66%
月平均残業時間	12時間	7時間	7時間
男性育休取得者数	0人	2人	1人

フレックスタイム勤務制度、時間単位年休制度など柔軟な制度の整備を続けています。

### ■ 教育制度の充実

WEB研修制度を導入いたしました。社員個々のステージに応じた受講や興味のある分野への積極的な知識習得、弱点の補強などに活用しています。

### ■ 福利厚生制度の拡充

カフェテリアプランを導入し、ライフステージに応じた制度利用を目指しています。

### ■ 人事評価制度の見直し

人事管理システムを導入し、評価結果のフィードバックや申請業務の時間短縮を目指しています。

### ■ 健康支援制度の充実

年2回の健康診断はもちろん心の健康診断も実施。女性活躍の観点から女性を対象として、2021年度より、女性医師による健康相談制度を導入しました。

## 地域活動

マナックでは、地域社会の一員として、より良い社会をつくるための取り組みとして、様々な地域活動へ積極的に参加しています。

### ■地域の学校との関わり

福山工場近隣の小学校などに、小学生新聞、英字新聞の提供を続けています。

また、福山市内の中・高校からの依頼により、福山工場での職場訪問活動の受け入れを行っています。職場体験や従業員との座談会を通じて、化学産業ならびに当事業への関心と理解を深めていただくだけでなく、学生の方々からも率直なご意見を頂くなどの交流を図っています。



### ■消防競技大会

第53回福山地区消防競技大会が2021年11月に開催されました。コロナ禍においても地域における消防活動の維持向上に努めるため継続して大会に参加し、上位入賞を目指しています。



### ■清掃活動

従業員による事業所周辺の美化活動を継続して行っております。活動を通じて地域の環境美化活動に努めます。

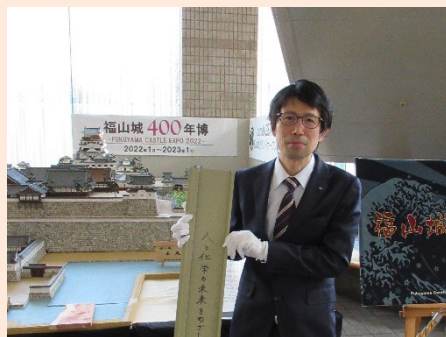


### ■地域活動への協賛

スポーツでまちを変える！  
福山シティFCのエグゼクティブパートナーとして社員一丸の応援とクラブの活動を継続的にバックアップしています。



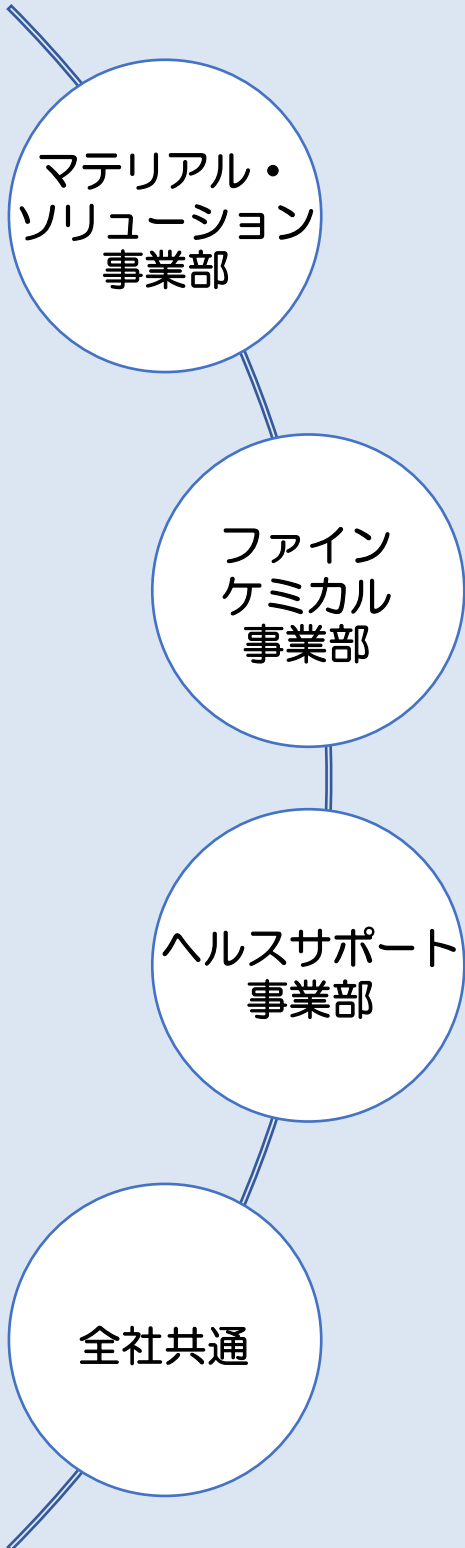
当社のルーツは1600年代半ば、福山藩水野家家臣本庄重政の塩田開発にまでさかのぼります。福山城築城400年記念事業に賛同し、天守北側鉄板貼りに参加いたしました。



# 持続可能な社会に向けた取り組み

## 持続可能な開発目標（SDGs）

マナックは現状にとどまらず、社会課題の解決からスタートし、より良い製品の開発に注力してまいりたいと考えております。「持続可能な開発目標（SDGs）」への現在の取り組み、そして未来に向けた取り組みについてご紹介いたします。



### ■ 難燃剤及び難燃材料に関連するビジネス



### ■ 医薬品や電子材料の中間原料に関連するビジネス



### ■ 人工透析薬剤用原料、抗菌剤原料に関連するビジネス



### ■ 生産、研究、購買、雇用活動に関連する取り組み





# 持続可能な社会に向けた取り組み

## 新規難燃材料（難燃WPC）の開発

マテリアル・ソリューション事業では、これまでの難燃剤（添加剤分野）から、SDGsの観点を意識して材料分野に踏み込んだ難燃材料の研究開発に注力しております。

例えば難燃機能を含む新しい機能を持たせたWPC（Wood-Plastic Composite）の開発に挑戦しております。アライアンス先との共同開発も視野に入れ、機能性の高い材料の開発、販売を目指しています。

※WPC（Wood-Plastic Composite）とは

樹脂に木粉を混ぜた複合材料です。軽量で強度があるという特長があるほか、木質資源を活用するので石油使用の削減にも貢献できます。現行のWPCはデッキ材などのエクステリア建材に主に利用されていますが、燃えやすいので用途が限られています。これを難燃化にすることによって、安全性が高まり用途の拡大が期待できます。



### 「難燃WPC」の開発製造活動が貢献できるSDGs

- ① 原料となる木粉は間伐材等を使用することができるため、建材・家具に向かない木質資源の持続的利用に貢献できます。
- ② 木質資源を活用するので石油使用量を削減できます。
- ③ 従来の難燃材料と異なる性質を持っているため、様々な応用が期待できます。

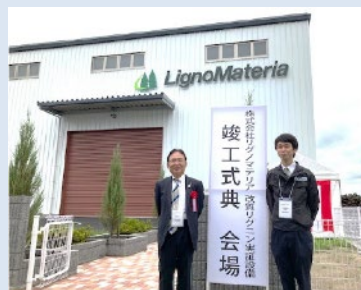


## 株式会社リグノマテリアとの協業活動

上記難燃WPCと同様、脱炭素社会の実現に向け、株式会社リグノマテリアとの協業活動を行っております。本活動では「石油由来」から「木材由来」のプラスチックへ研究開発を進めています。2021年、㈱リグノマテリアにて、スギを原料として製造する新素材「改質リグニン」の実証プラントが竣工しました。我々は森林総合研究所とも連携し、生産技術の効率化、用途開発を実施しています。

### 「改質リグニン」の開発製造活動が貢献できるSDGs

- ① スギの間伐材等を原料とすることができるため、日本の森林の持続的管理に貢献できます。
- ② 従来のプラスチックと比較しても異なる性質を持っているため、さまざまな製品の素材として応用が期待できます。
- ③ 製造プラントは木材の供給元に近い、中山間地域に建設できます。そのため、雇用の創出や地方経済の活性化が期待できます。



## Etak®セーフティーコート®

「Etak®」は、当社と広島大学大学院医系科学研究科（歯）二川浩樹教授で共同開発し製品化したエトキシラン系の抗菌・除菌成分です。乾燥後も抗菌・抗ウイルス効果が1週間程度持続する特徴があり、特定の菌やウイルスから環境を守ることが期待できます。詳細内容はEtak®特設サイトにてご覧いただけます。

当社では、このEtak®を製造し、抗菌製品の原材料として各社へ供給しているほか、Etak®を有用成分として配合した高濃度アルコールタイプの除菌・抗菌コーティング剤「Etak®セーフティーコート®」を業務用として製造・販売しています。当社は、Etak®成分を配合した業務用除菌・抗菌コーティング剤「Etak®セーフティーコート®」の提供を通じて、SDGsの目標3「すべての人に健康と福祉を」の実現に貢献してまいります。



Etak®特設サイト

### 「Etak®セーフティーコート®」の効果・特徴

噴きかけた直後はアルコールの効果で除菌。アルコールが乾いた後にEtak®が噴きかけたモノの表面に固定化し、コーティングするため、後から菌やウイルスが来ても1週間抗菌効果を持続します。

※全てのウイルス・菌に効果があるわけではありません。使用状況により、持続力は異なります。

※「Etak®セーフティーコート®」は業務用除菌・抗菌コーティング剤のため、一般消費者向けの販売は実施しておりません。

※「セーフティーコート®」は、マナック株式会社の登録商標です。

「Etak®」は株式会社CampusMedicoの登録商標です。

## ■固定化抗菌剤「Etak®セーフティーコート®」の寄贈

現在、世界的に蔓延し、日本国内でも様々な地域で感染が拡大している新型コロナウイルスの感染拡大予防にお役立ていただくため、「Etak®セーフティーコート®」を寄贈しました。福山市内の小中学校を中心に配られ、子どもたちが安心して学校に通える環境を整えるために活用されています。



# 会社概要

## 会社概要 2022年3月31日時点

■商号	マナック株式会社
■設立	1948年（昭和23年）5月
■従業員数	198名
■資本金	3億円

## 拠点

### ■事業拠点

#### 本社

東京都中央区日本橋3丁目8番4号

#### 大阪営業所

大阪府大阪市西区京町堀1丁目6番2号

#### 福山工場・研究所

広島県福山市箕沖町92番地

#### ※他の研究拠点：

郷分ラボ、富山ラボ、湘南ラボ

#### 郷分事業所

広島県福山市郷分町950番地の1

(株)マナック・ケミカル・パートナーズ  
(持株会社) 証券コード 4360

マナック株式会社

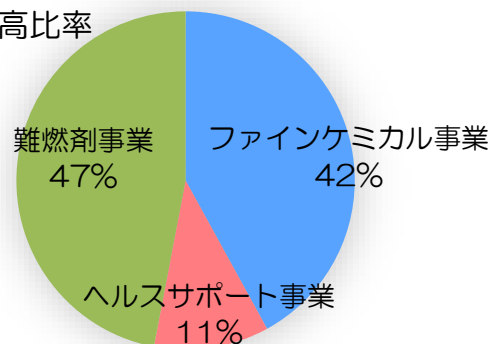
八幸通商(株)

曼奈科(上海)貿易有限公司

エムシーサービス(株)

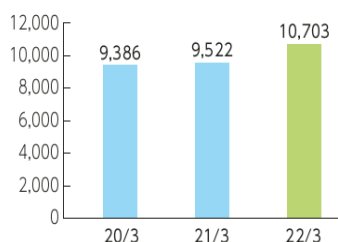
関連会社  
ヨード・ファインケム(株)

### ■事業別売上高比率

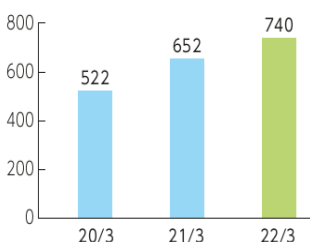


## 連結財務ハイライト (単位：百万円)

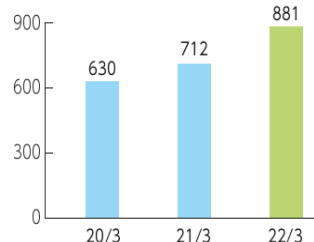
### 売上高



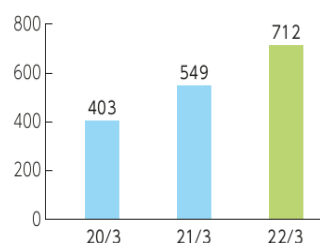
### 営業利益



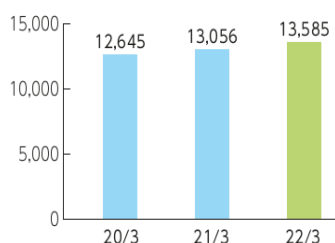
### 経常利益



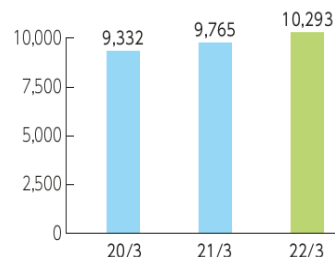
### 親会社株主に帰属する 当期純利益



### 総資産



### 純資産



※2021年3月期まではマナック(株)として公表した数値であり、  
2022年3月期は(株)マナック・ケミカル・パートナーズとして公表した数値であります。



人と化学の未来をめざして  
**マナツク株式会社**